



立岩第3排水樋管(ひかん)の操作説明会を実施しました。

令和4年2月7日(月)

- 伯耆町にある立岩第3排水樋管の操作員さんの交替に伴い、令和4年2月3日(木)に操作説明会を行いました。
- 樋門(樋管)の役割をはじめとする基礎知識のほか、開閉操作(通常操作)、点検方法や停電等異状時の操作手順について、操作を交えながら説明しました。



説明会の様子

操作員さんから「操作や点検方法の詳しい説明を聞くことができ、大変参考になりました。」との言葉をいただきました。

排水樋門(樋管)の構造



※この写真は堤外側(日野川側)から撮影しています。

・ゲート
通常は開いていますが、大雨の際には閉めます。

・水の流れ(通常は宅地側の水が日野川へ、矢印の方向に流れます。)

【排水樋門(樋管)の操作について】

- ・排水樋門(樋管)は、日野川や法勝寺川といった大きな川からの流水被害が予想される場合に操作を行います。
- ・雨が降り、日野川や法勝寺川が増水して水位が上がると、その水が宅地側に向かって逆流し、道路の冠水や住宅・田畑の浸水といった被害が発生します。
- ・排水樋門(樋管)を操作してゲートを閉めることで、宅地側への水の流入を阻止し、浸水被害を未然に防ぎます。
- ・こうした操作員の方々の適切な操作が、地域の水被害防止に寄与しています。

